



発行・カトリック水巻教会  
 編集・広報委員会  
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
 〒807-0021  
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
 第271号

新年への希望、世界平和への祈り

1月1日は、教会では「神の母聖マリアの祭日」を祝います。その祝いと共に、現代のカトリック教会は、1968年以来「世界平和の日」という祈願日にしています。

この主旨は新年を迎えるすべての人の祈りの気持ちと自然に結びついています。

1981年2月教皇ヨハネ・パウロ二世が来日され、25日に広島で平和アピールを発表されました。全文を読んだことはありますか。教皇様の平和アピールは平和旬間のところに全文を掲載したいと思いますが、今号ではその一部を紹介します。この言葉はとても有名なので知っている人も多いでしょう。

『戦争は、人間のしわざです。戦争は、人間の生命の破壊です。』

戦争は、「死」です。この広島の間、この平和記念堂ほど強烈に、この真理を、世界に訴えている場所は他にありません。

(中略) 深い感動を抱きながら、本日、私は”平和の巡礼者”としてここにまいりました。

私がこの広島平和記念公園への訪問を希望したのは、「過去を振り返ることは、将来に対する責任をになうことだ」という、私自身の強い確信によるものです。』

教皇様はアピールの最後を祈りで終わり

ました。

『私は、自然と人間、真理と美の創り主である神に、祈ります。』

神よ、私の声を聞いてください。それは、個人の間、または国家の間でなされた、すべての戦争と暴力の犠牲者たちの声だからです。

神よ、私の声を聞いてください。私は主が、すべての人間の心の中に、平和の知恵と正義の力と、兄弟愛の喜びをくださるよう、祈ります。

おお、神よ、私の声を聞いてください。そしてこの世に、「あなたの終わりなき平和」をお与えください。』

教皇様のアピールは30年近く前のことですが、その後も世界各地で戦争やテロ事件が起きています。その上に隣の国では核実験やミサイルの発射などが頻繁にありました。教皇様の深い祈りを心に留めて、わたし達はキリストによる平和の到来を信じながら、その完成を待ち望んで、現代世界に平和が着実に実現するよう、心を一つにして祈りたいもの

子どもたちのページ	2面
公文書シリーズ	3面
委員会報告	4面
典礼委員会議事録・レプトン会より	5面
聖書への案内・今月の聖人	6面
教会学校のページ	7面
おしらせ	8面



子どもたちへのページ

お年玉

しょうがつ どのくらいお年玉をもら  
いますか。誰からいくらもらうか計算し  
ていませんか。

計算したくなるのは当たり前です。1  
年で一番たくさん小遣いをもらうこと  
ができるのがお年玉ですからね。

もらったお金はどうしていますか。  
全部を、お菓子やおもちゃに使ってしま  
いますか。それとも貯金をしていますか。

わたしの子どもたちは、小さい時にほ  
んど貯金していました。そして貯まっ  
たお金で 小学 4 年生から冬休みにス  
キー学校に行きました。お金というもの  
は使ってしまうえば無くなりますが、貯め  
ておくといろいろなことに使えます。

お父さんやお母さんは皆さんのため  
に毎日働いています。そしてみなさん  
にお年玉をあげているのだから大切に  
使いましょう。

お金をどのように使ったら良いのか  
ということは、イエス様が話しをされて  
います。

『イエスは目を上げて、金持ち達が  
賽銭箱に献金を入れるのを見ておられ  
た。そして、ある貧しいやもめがレプト  
ン銅貨二枚を入れるのを見て、言われた。  
「確かに言うておくが、この貧しいやも

めは、だれよりもたくさん入れた。あの  
金持ちたちは皆、有り余る中から献金  
したが、このひとは、乏しい中から持つ  
ている生活費を全部入れたからである』

「やもめ」とは結婚した相手が死んだ  
りして一人になった女の人のことです。  
イエス様のところに女性が一人で生活す  
ることは大変なことでした。働いてお  
金を持ってきてくれる人がいせんか  
ら、とても貧乏になるのです。1レプト  
ンは今のお金で50円程度でしょう。

この人は自分が持っている100円を  
献金したということは、生活ためする  
ために必要だった全部のお金を献金し  
たこととなります。

だからたくさんお金を持っている人  
がたくさん献金するより、この女の  
人が献金した2レプトン銅貨のほうがた  
くさん献金したことになるとイエス様  
は言っているのです。

皆さんは、この話を読んでどのよう  
に感じましたか。たくさんもらったお年  
玉をお菓子やゲーム機などに使う前に、  
お金がなくて困っている人のために少  
し出してみてもはどうですか。

どこに持っていくのかはお父さんた  
ちと相談してください。

## 公文書シリーズ 第5回 教会憲章4章、信徒について

**33節（信徒の使徒職）** 信徒の使徒職は教会の救霊活動そのものへの参与であり、すべての人は洗礼と堅信を通して主自身から使徒職に任命される。諸秘跡、特に聖体の秘跡によって、全使徒職の魂である神と隣人に対する愛が授けられ養われる。信徒によらなければ教会が地の塩となることができない場所と環境において、教会を存在させ活動的なものとするのが、特に信徒に与えられた使命である。このようにすべての使徒は、自分に与えられたたまもの自身によって、「キリストのたまもの量に応じて」教会自身の宣教の証人であると同時に生きた道具である。

信徒は「使徒職」のほか、なお種々の方法で聖職位階の使徒職へのより直接的協力に招かれることができる。

（解説）信者は「使徒職」という教会の救霊活動に参与し、信徒ならではの、教会の活動が実現すると書かれています。信徒は、この崇高な「使徒職」が履行できること以外にも、もう少し日常的な様々な協力活動をも行うことができ、ここで、例えば教会運営において各々の持ち分、得意な能力を発揮し、主において大いに働かう、とされています。

**34節（信徒の共通司祭職）** 永遠最高の司祭、キリスト・イエスは、自分のあかしと奉仕を、信徒を通して継続することを望んで、自分の霊によってかれらに生命を与え、よい事と完全な事のすべての実行へ絶えずかれらを推し進めている。

キリストは自分の生命と密接に結ばれた人々が、神の賛美と人々の救いのために霊的礼拝を行う様に、かれらに自分の司祭職の一部を与えた。かれらの仕事、祈り、使徒的努力、結婚、家庭生活、日々の労苦、心身の休養を霊において行うことは、霊的捧げものとなる。

（解説）かならずしも、(位階的)司祭、修道者でなくとも、信徒たちが、日々の信仰生活と労苦を捧げることでキリストに与えられた「司祭職」を果たしうることが書かれています。

**35節（信徒の預言職）** 偉大な預言者キリストは、自分の名と権能によって教える聖職位階だけでなく、信徒を通して、自分の預言職を果たすのである。このために、キリストは信徒を証人に定め、信仰の感覚とことばの恩恵を授けて、福音の力が家庭と社会の日常生活の中に輝きわたるようにした。かれらが堅固な信仰と希望を保ちながら今の時をよく利用し、忍耐をもって将来の栄光を待つならば、かれらは約束の子としてふるまうのである。

（解説）明快な文章で解説の必要もないのですが、日常生活の中で、我々の日常の言葉によって、信徒が預言職となることが書かれています。

上記に続く文章によれば、結婚生活、家庭生活が、信徒使徒職の実践と教育の場であること、現世的な仕事に従事するときにも、世に福音を伝える崇高な働きができ、迫害的な政権が妨害を行うときにも、その状況への真剣な生き方は、一定の聖務を担うと語られています。

# 委員会等報告

2009年12月分

## 12月度小教区委員会 12月6日

### 1、行事報告

- ① 11月3日(火)大神学校訪問  
参加者；水巻39名 黒崎6名  
バスと乗用車に分乗して行った。
- ② 11月22日(日)小教区バザーを実施
  - ・野菜とみりん干しをメインに販売
  - ・カレーとうどんによる食事会  
(カレー100人分、うどん70人分)
  - ・フリーマーケットは準備不足のため、ほとんど手つかずの状態で行った。
  - ・純利益95,025円(教会会計に繰入)
  - ・コーヒー販売；材料費等かかった費用は中間地区小林さんより寄付
  - ・前日準備は9時開始が良いのでは  
13時からではほとんど終わっていた
- ③ 11月27日(金)ホーム支援の炊き出し
  - ・16名参加
- ④ 11月29日(日)クリスマス準備
  - ・馬小屋作り準備…十数名の手伝い
  - ・クリスマス特別献金開始…教会会計に繰入

### 2、議題

- ① 12月13日(日)街頭募金
  - ・場所；ルミエール水巻店の前  
道路使用許可を警察に申請、ルミエールにも話をした。道路は可、敷地内は不可
  - ・各時間帯の責任者は許可書を持って行く
- ② 12月13日(日)子どもの告解
  - ・子どもの後、大人も可
  - ・当日は大神学校の明石神父の司式
- ③ 12月20日(日)クリスマスイブのハルカ
  - ・11時よりフルーツ奏者と一緒に練習
- ④ 12月24日(木)クリスマスイブのミサ
  - ・水巻 19:30より(竹森神父)
  - ・黒崎 19:00より(黙想の家の神父)

- 駐車場案内 2名(工事の進み具合によつては人数を増やす)
- 会場案内 2名(典礼委員会より)
- ・ミサ後のパーティーについて
- 炊き込みご飯、豚汁  
無料だが、献金箱をおく
- コーヒー販売(中間地区小林さん)  
1杯100円にて販売
- 準備は24日10時、各地区2名

- ⑤ 12月25日(金)クリスマスミサ
  - ・水巻 8:15より 黒崎 10:00より

### 3、各委員会から

- ① 冠婚葬祭関係のグループより
  - ・神学生のお別れ会(2月にバーベキューの予定)をする時に、冠婚葬祭関係のお金の一部を使う予定。
- ② レプトン会より
  - ・2月13日(土)黙想会を行う  
講師は下関の神父
  - ・謝礼2万円(教会から半分援助、半分は自分たちも負担)

### 4、その他

- 新型インフルエンザの件
  - ・今まで通り、今後も警戒を続ける。
- クリスマスリースの杉の葉の材料の件
  - ・杉の木を持っている人の情報を得る。
- 水巻教会での通夜の件
  - ・内容を今後検討していく。
  - ・マニュアルを作る。

### 5、これからの主な活動予定

- ① 大晦日のミサ；今年はない
- ② 新年のミサ；10時から(黒崎 8:15より)  
成人のお祝いもこの日に行う。  
車の祝別；ミサ後に行う。

## 2009年度 第7回 典礼委員会議事録

開催日時：2009年12月9日(水) 19:30 場所：信徒会館

- 1 祭礼用香炉とスタンド購入
    - ・神学生歓送パーティーに典礼関連予算から補助
  - 2 北九州地区信徒協 典礼部会(全信徒対象) 2010年1月31日(日)14時 小倉教会  
演題：「ことばとしるし」 講師：嘉松宏樹神父(大神学院)
  - 3 典礼聖歌研修会(2月21日の予定)
    - ・講師の深堀先生が声帯を痛められたため中止にする。
  - 4 年の黙想会(水巻教会)と共同回心式  
3月6、7日(第1土、日曜日) 指導司祭：前田神父(長崎教区)
  - 5 典礼委員会主催 仮称「集い」・・・審議一月に継続・・・  
於：黙想の家 来住神父 日程：4月から5月の日曜日 午後2時～5時  
対象者：疎遠になっている信者、信者が誘いたい未信者 など  
テーマ：例えば「黙想の家で祈り、聖書を聞く集い」「お話と祈りの集い」
  - 6 その他
    - ・元旦ミサの時間 午前10時 朗読者と奉納者を依頼する
    - ・通夜・葬儀のしおり(99部)50部増刷 ・葬祭マニュアルを作る
- 次回例会予定 平成22年1月13日(第2水曜日) 19:30 信徒会館

レプトン会から一日黙想会のお知らせテーマ：「ごめんなさい」

指導：李相源 神父

日時：2010年2月13日(土) 10:00～15:00

場所：水巻カトリック教会 参加費：500円(昼食代)

今年も好評だった「ありがとう」グッズ持参の李相源神父様に指導していただきます。

3つの祈り

- ① OOOありがとう
- ② OOOごめんなさい
- ③ 神様助けてください

この2つ目「ごめんなさい」がテーマです。

皆様方の多数の参加をお待ちしています。

ペルーの貧しい子どもたちを支えるレプトン会

## 聖書への案内 No.6 ヨシユア記

歴史文書の第一巻です。申命記の後を受けて、モーセの死からヨシユアの死までの歴史が書いてあります。

内容は三部構成になっています。

\*カナン占領(1章~12章)

\*12部族へのカナンの地の分配(13~22章)

\*ヨシユアの最後の勧めと死(23~24章)

申命記の最後にモーセの死が記されています。ヨシユア記はそれに続いて、モーセの後継者ヌンの子ヨシユアに主が言われます。

「わたしの僕モーセは死んだ。今、あなたはこの民すべてと共に立ってヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている土地に行きなさい。モーセに告げたとおり、わたしはあなたたちの足の裏が踏む所をすべてあなたたちに与える。荒れ野から

レバノン山を越え、あの大河ユーフラテスまで、ヘト人の全地を含み、太陽の沈む大海に至るまでが、あなたたちの領土となる」(1章2~4)

ヨシユアはイスラエルの民を引き連れてヨルダン川を渡り、川の反対側の最初の都市エリコを攻略します。

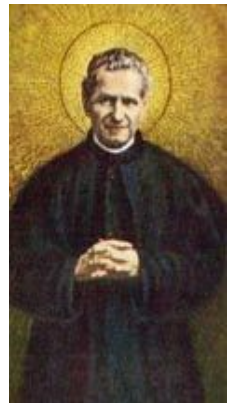
ヨルダン川を渡るとき、モーセによって紅海の水が割れたように、ヨルダン川の水もせき止められる奇跡が起こり、イスラエルの民は乾いた川を渡ります。

その後、イスラエルの民はカナンの地への侵入を開始して、12部族がそれぞれ分配された地に定住することになります。

ここからカナンでのイスラエルの民の歴史が始まるのです。

### 今月の聖人 31日 聖ヨハネ・ボスコ司祭 1815年-1888年

ヨハネは、イタリア、トリノの貧しい農家に生まれた。幼いとき父親に先立たれたが、信仰深い母の影響で司祭になることを志し、神学校に進み、1841年に司祭に叙階された。トリノの貧しい青少年の教育のために、骨身を惜しまず活動した。彼は、愛と優しさをもって子どもたちに接し、「虫を取るためには、酸っぱい酢よりも、1滴の蜜のほうが効果がある」という聖フランシスコ・サレジオ(1月24日参照)の言葉を心に刻み、実行した。1859年に「サレジオ会」という男子修道会を創立し、1872年にはマリア・マザレロを指導して「扶助者聖母会」(今日では、サレジアン・シスターズと呼ばれている)という女子修道会を創立した。



ヨハネのモットーは、「愛なくして信頼なく、信頼なくして教育なし」ということであった。両会は急速に発展し、世界中に学校や施設を運営し、多くの子どもたちの教育にあたっている。日本でも、青少年のための学校教育を始め、出版活動などをおして大きな貢献をしている。





# 教会学校のページ



12月13日

☆1～2年生

・初聖体テキスト27～30 ・クリスマスカード作り

☆3～6年生

・ゆるしの秘跡 ・クリスマスカード作り



12月20日

1年生～6年生 終業式

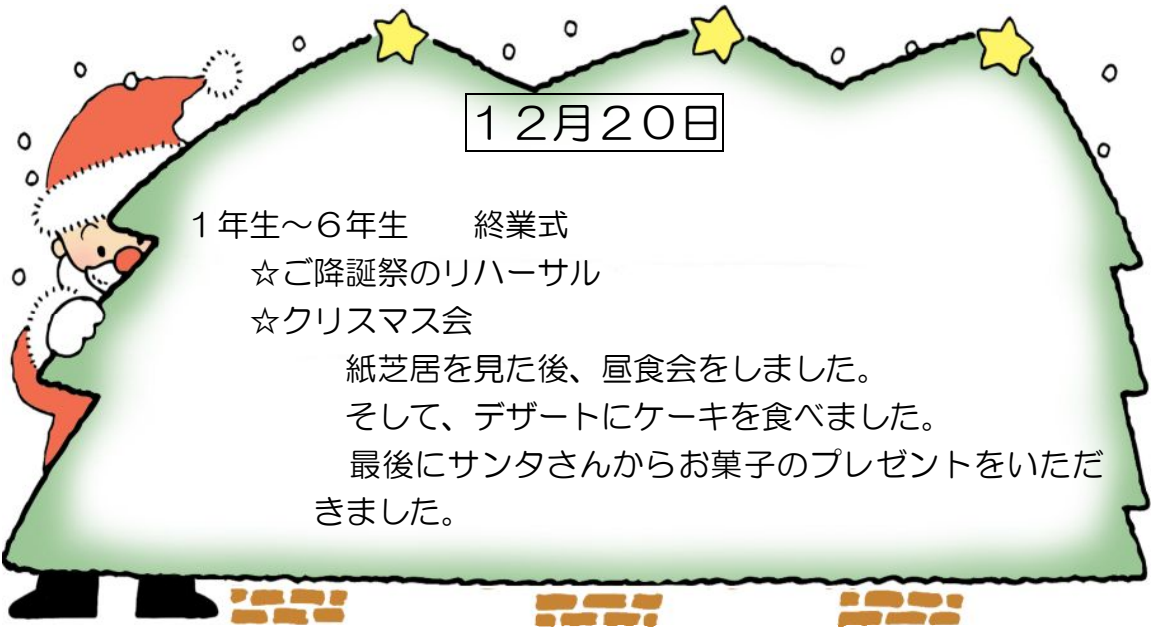
☆ご降誕祭のリハーサル

☆クリスマス会

紙芝居を見た後、昼食会をしました。

そして、デザートにケーキを食べました。

最後にサンタさんからお菓子のプレゼントをいただきました。



◇12月27日(日)は、教会学校はありません。

◇1月10日(日)は始業式です。

みんな元気に出席しましょう。

◇1月24日(日)は、子どものミサです。

# 1月のおしらせ

## ★小教区祭の報告★

11月22日(日)に小教区バザーが行われました。

純利益 95,025円

## ★特別献金★

12月6日 宣教地司祭育成献金  
65,400円

ご協力、ありがとうございました。

## ★街頭募金★

12月13日(日)、ルミエールの前で街頭募金を行いました。寒い中、多数の方にご協力いただき、ありがとうございました。なお、募金先は後日お知らせします。

街頭募金 23,890円

子ども達が教会で集めた募金  
55,189円

合計 79,079円

## ★特別寄付★

吉田地区 東城平造さんよりご寄付をいただきました。

## ★1月1日 新年ミサ★

☆午前10時から

今回もこの日に、成人のお祝いと車の祝福式を行います。また、ミサ後に新年祝賀茶話会も行います。

## ★新成人紹介★

今年度、成人になる方が、水巻教会に15名いますので、紹介します。

梅ノ木地区 田口 雄磨さん

村中 知寿希さん

安永 功平さん

海老津地区 西口 綾香さん

折尾地区 宗 友和さん

松岡 春名さん

遠賀地区 岡村 志帆美さん

兼元 沙蘭さん

高須・青葉地区 橋本 由美子さん

橋本 潤さん

松山 久美子さん

中間地区 上坂 俊也さん

三船 悠太さん

吉田地区 川脇 洋介さん

前平 雅也さん

## 人-ひと

【ご帰天】安らかに！

◇11月26日

松畑 富文さん (赤間地区)

◇12月1日

東城 志遂美さん (吉田地区)

◇12月11日

西村 久四男さん (折尾地区)